

第8期作成委員会(第3回)	資料4
令和2年11月21日(土)	

第8期介護保険事業計画

島原半島における要介護(要支援)認定者の将来推計について

島原地域広域市町村圏組合 介護保険課

年齢別認定者数と認定率

(過去の実績)

※ 第2号被保険者は除く

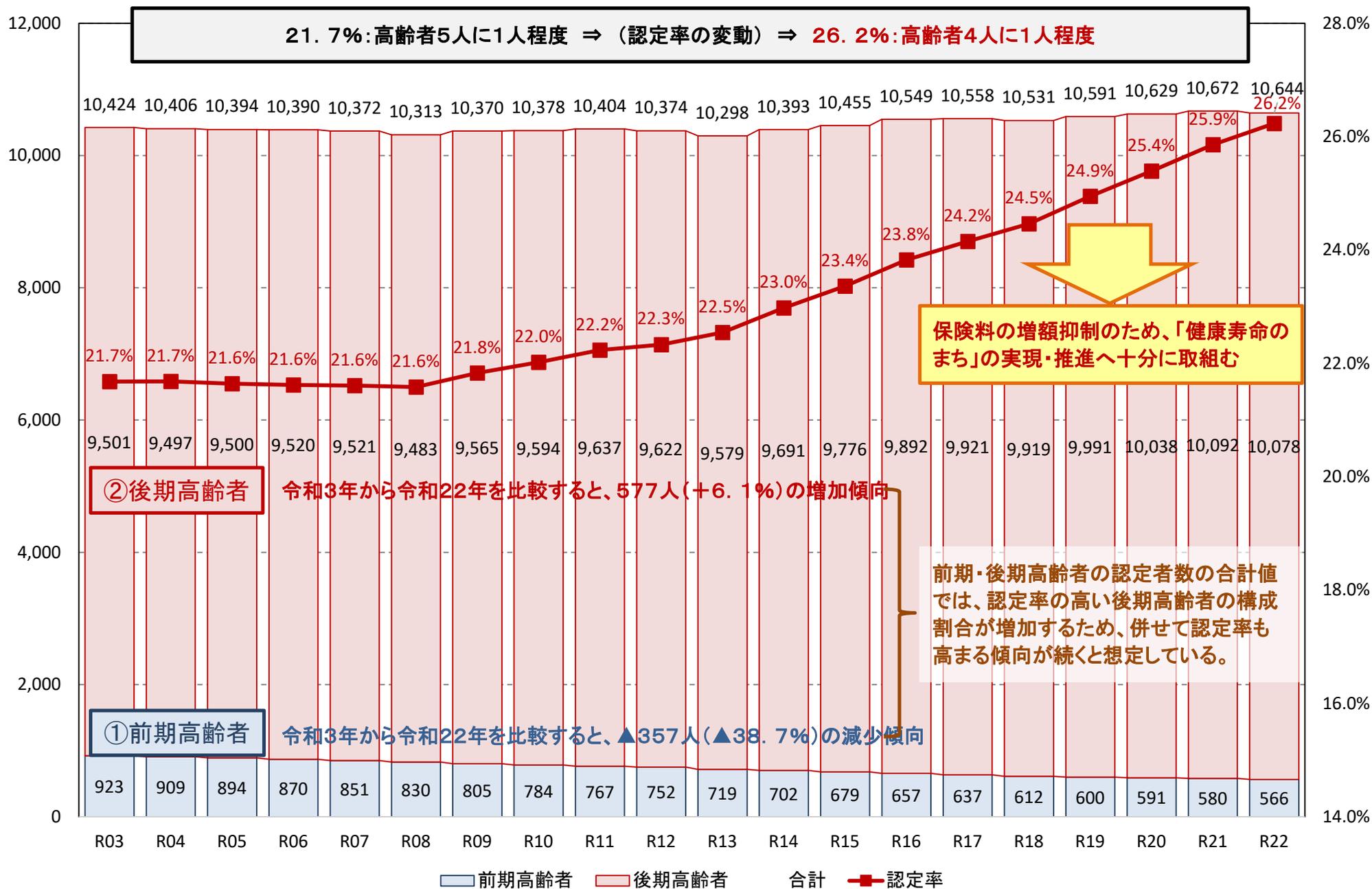
区分		H30.09.30			R01.09.30			R02.09.30		
		高齢者数	認定者数	認定率	高齢者数	認定者数	認定率	高齢者数	認定者数	認定率
前期 高齢者	65歳-69歳	12,094	340	2.8%	11,717	356	3.0%	11,419	321	2.8%
	70歳-74歳	9,181	507	5.5%	9,912	531	5.4%	10,787	562	5.2%
後期 高齢者	75歳-79歳	8,315	1,108	13.3%	8,327	1,061	12.7%	7,861	975	12.4%
	80歳-84歳	7,811	2,306	29.5%	7,540	2,158	28.6%	7,505	2,079	27.7%
	85歳-89歳	5,987	3,159	52.8%	6,008	3,182	53.0%	6,074	3,171	52.2%
	90歳以上	4,123	3,257	79.0%	4,302	3,372	78.4%	4,478	3,476	77.6%
合計/平均値		47,511	10,677	22.5%	47,806	10,660	22.3%	48,124	10,584	22.0%

過去3年間の実績は、
 ほぼ「横ばい傾向」
 今後の認定率としては、
 最新の令和2年9月末
 のものを活用

前期高齢者	21,275	847	4.0%	21,629	887	4.1%	22,206	883	4.0%
後期高齢者	26,236	9,830	37.5%	26,177	9,773	37.3%	25,918	9,701	37.4%

前期・後期高齢者の認定率は、ほぼ「横ばい傾向」であるため、最新年度の認定率(22.0%)を活用する。
 しかしながら、今後は、認定率の高い後期高齢者の構成割合が増加するため、併せて認定率も高まる傾向が続くと想定している。
 このため、保険料の増額へも影響があると見込めることから、「健康寿命のまち」の実現・推進にも十分に取組むこととし、増額の抑制効果を目指すこととする。

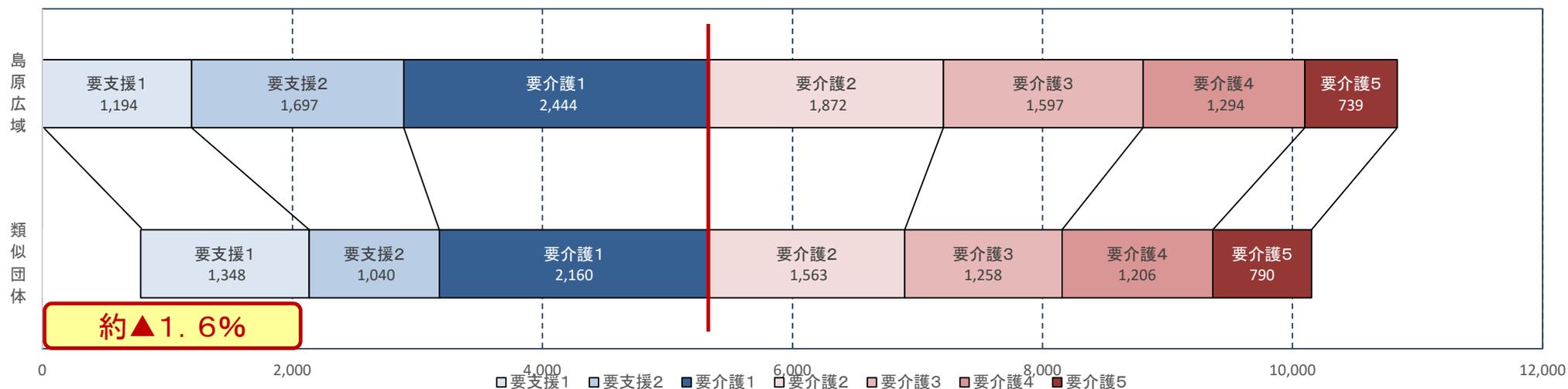
将来推計における想定傾向グラフ



(令和2年7月末現在)要介護(要支援)認定者数の類似団体との比較

	被保険者数(A)			認定者数(B)							認定率(B/A)		
	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
類似団体	49,525	23,774	15,371	10,380	9,365	1,348	1,040	2,160	1,563	1,258	1,206	790	18.9%
島原地域広域市町村圏組合	47,955	22,005	15,425	10,525	10,837	1,194	1,697	2,444	1,872	1,597	1,294	739	22.6%

○ 構成状況の分析等(過去も同様)



類似団体との比較・分析結果、要介護1以下の軽度である要支援2と要介護1が多い傾向にある。
⇒ 約1.64%(約800人)の抑制に取り組む。

要介護2以上については、受給者(利用者)が重度化する傾向にあるため、特に抑制は取組めない。
将来的には、要介護1以下の軽度の抑制により、要介護2以上についても反映できるものとする。